

4月刊行予定

顕如

信長も恐れた「本願寺」宗主の苦悩

金龍 静 編
木越祐馨

菊判並製 320ページ(予定) 口絵8ページ(予定) 定価(本体3,500円+税)

ISBN978-4-8016-0044-7 C3021

信長の「天下布武」に立ち塞がった顕如とは!?

顕如(光佐)は本願寺11世である。戦国時代、本願寺は一向一揆を指導するなどして、経済的にも軍事的にも強大な力を持っていた。当時大坂にあった本願寺は寺院でありながら難攻不落の城塞としても有名であった。顕如は若くして本願寺を継いだ。それまでの歴代が果たせなかった「門跡」になるなど、本願寺の絶頂期に教団を率いた。天下統一を目指す織田信長と敵対し、10年間に渡って戦い抜いている。しかし、勅命による講和の直後、威容を誇った大坂本願寺は焼失し、教団も息子教如と准如の時に東西に分裂する。いわば本願寺の歴史上、非常に大きなターニングポイントの中心にいた人物である。この顕如に様々な角度から光をあて、実像に迫る待望の論文集。

目次

若年の顕如	木越 祐馨	加能地域史研究会代表
顕如の前半生一本願寺「門跡成」から親鸞三百回忌へ	安藤 弥	同朋大学准教授
永禄・元亀の政局	弓倉 弘年	和歌山県立桐蔭高等学校教諭
一向一揆と織田武士団	川端 泰幸	大谷大学文学部歴史学科講師
寺内町の構造と展開	大澤 研一	大阪歴史博物館学芸員
雑賀衆と「石山合戦」	武内 善信	和歌山県立歴史民俗資料館学芸員
勅命講和	小谷 利明	八尾市立歴史民俗資料館館長
大坂退出についての教如の動向	岡村 喜史	本願寺史料研究所委託研究員
教如教団の形成と性格	草野 顕之	大谷大学学長
天満・京都時代の顕如本願寺と洛中本願寺屋敷	大原 実代子	本願寺史料研究所研究員
顕如発給文書について	太田 光俊	三重県総合博物館学芸員
大坂拘様終結における顕如と教如	青木 馨	同朋大学講師 同大学仏教文化研究所客員所員
下間頼廉名乗・花押考	金龍 静	本願寺史料研究所副所長
寛政の顕如一石山合戦を題材とする浄瑠璃・歌舞伎	塩谷 菊美	神奈川県立平塚商業高等学校教諭



注文書

書店(帳合)印

4月刊行委託

注文数 冊 担当 様

書名

信長も恐れた「本願寺」宗主の苦悩

金龍 静 編
木越祐馨

発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1

TEL(075)441-7747
FAX(075)431-8877

ISBN978-4-8016-0044-7 C3021 ¥3500E

定価(本体3500円+税)

年 月 日

(株)宮帯出版社

京都市上京区真倉町739-1
TEL(075)441-7747

www.miyaobi.com
FAX(075)431-8877